

第10回新城市自治基本条例を考える市民会議 参加者感想 平成22年9月11日開催

感 想	
市民 委員	<p>松下講師から「新城市独自の条例・よそより突出したものをつくる方向で」と話されましたが、本当にできるのかと思いました。愛知県内で7市町でできていると思いましたが、なぜよそではできないのでしょうか。全国でも200くらいだと思いますが。</p>
	<p>そろそろまとめに入る時期か。 委員参加が少ないのが残念 市民、行政職がもっと入って意見もらいましょう！</p>
	<p>町をどうにかしたいかということ。決めるのに主になってまとめるのは、誰で、それを実行できるようになると良いかをうやむやにしたいくないので、仕組みを明確にするようにしてほしいです。</p>
	<p>良い意見発表がたくさんあったので9月15日に間に合うようまとめてください。 「参加」の定義を確認したい。 物理的に参加すること、書面上で申し込みできること等だけが「参加」ではないと思う。 意識・認識が始まったところから「参加」は始まっていると思う。前段のみにこだわると良くないのでは。</p>
	<p>市民への情報とは、どこまで提供できるのか。どこまで必要か。 行政と市民会議の仕事の区分はどこで線引きするか。 地域の問題解決能力をどうおさえるか。</p>
	<p>次が問題なんですよね～。どうなるのやろ…。 次でぐっと進むはずなのになぜ…。</p>
	<p>今回は久しぶりに会に活気が出てきました。 繰り返しの意見が出ますが、参加者の意見を多く聞くことができよかったです。</p>
	<p>「情報」から考えても情報の流れについても、流し方、流す人、今一度見直しては！ 流す人→方法→内容→市民全体(行政区内)→参加しやすい組織の見直し、よろしく！ いろいろな方と話できてよかったですね！</p>
	<p>市民委員の参加が少なくなっているのが気になる。 行政職員の参加があったことは、議論が高まってよかったと思います。 一般市民が参加してみたいと思える会に成長することを期待しています。</p>
	<p>参加、情報公開の仕組みは自治の基本で最も重要な項目だと思いました。 なかなか充実した話し合いができてよかった。</p>
市民	<p>久々に有意義に話し合いができて楽しかったです。</p>
	<p>「まちづくり」に志を持った委員と良い意見交換ができた。このような会議に出ない関心のない市民の意見をどのようにして吸い上げるかが今後の大きな課題であろう。会議に出ないのもある意味市民の意思ではないだろうか。</p>
	<p>初めての会議で戸惑いの部分もありました。情報の共有化、伝達は住民あつてのこと、難しいと思いました。</p>
	<p>市民が多くこの会に出席できる工夫が必要であると感じました。 本日、ワークした内容を全ての参加者に配布してもらいたい。</p>
	<p>論点が絞れた感じがします。 また、KJのスピードが上がったと思います。</p>
	<p>情報をテーマによりグループに分かれて議論して市民からの考え方等一部ではありますが、参考になりました。</p>
	<p>新城市自治基本条例策定に向けての検討会議として、市民参加による基本条例として、市職員が多数であった。市民が多く集まる会議であってほしい。</p>
	<p>さまざまな人と意見交換ができ有意義でありました。</p>
	<p>情報について発信する側と受ける側では考え方、感じ方に違いがあると感じた。今後の情報発信の参考としたい。</p>
	<p>今、議会基本条例を議論が進んでおります。 議会にも情報を流していただけると助かります！</p>
<p>しんしろに住むこと暮らすこと 益々混迷するばかりです。 今回も自分についての答えを見出すことができませんでした。 企画・運営お疲れ様でした。</p>	